

『兼志谷 シ〇ミラ』、各地のシャードに男性ファンが多い、
大変人気のあるアク〇レスだ

俺もちろんその一人、だが……
ファンというより、ストーカーといっている。





浅黒い肌と幼い顔、体軀。
そして何より……
そんな姿に似合わない大きな胸。

男から人気が高いのも頷ける。
夜な夜なオニのネタに
されまくっているだろう

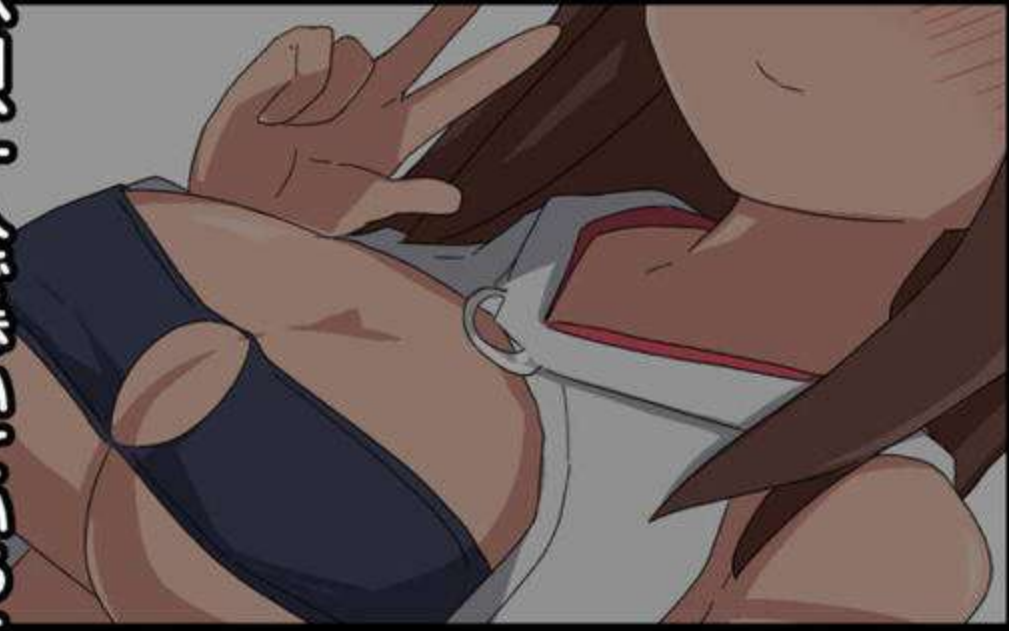


隠れながら様々な写真を撮り、作戦を練って、
そして——妄想の中で彼女を汚し続けた。

身動きのとれない兼志谷シ〇ラを汚し、撮影したい。
その画像、映像データにはとんでもなく高値がつくだろう

彼女の行動範囲は把握している。
飄々としていてスキがあるのかないのか、
中々タイミングが掴めなかったが……





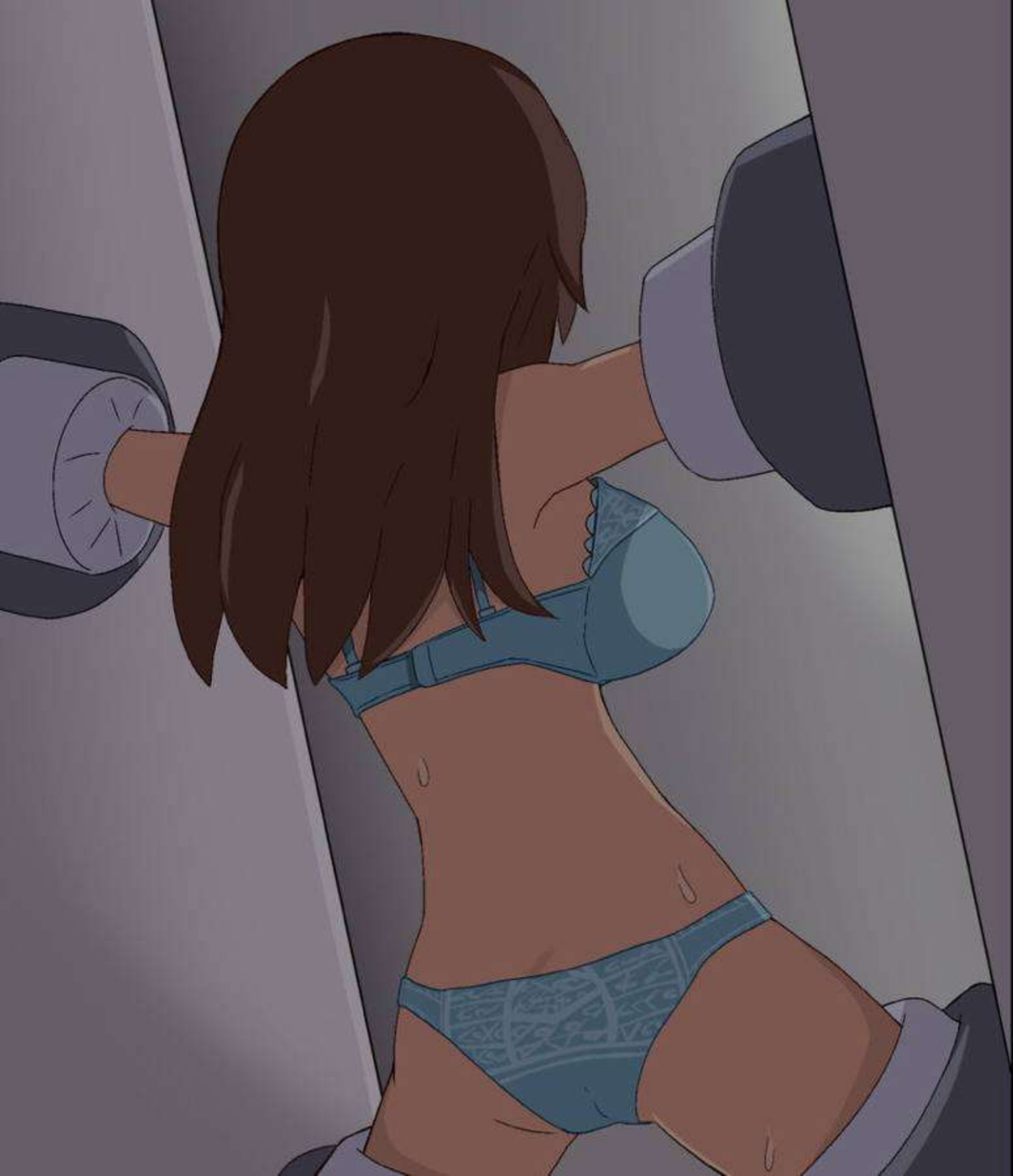
休日、一人で歩いているところ、後ろから近づき、
スプレーで眠らせることができた。
心臓がバクバクと鳴っている………
あの兼志谷シ○ラが、今オレの目の前に、無防備な姿で

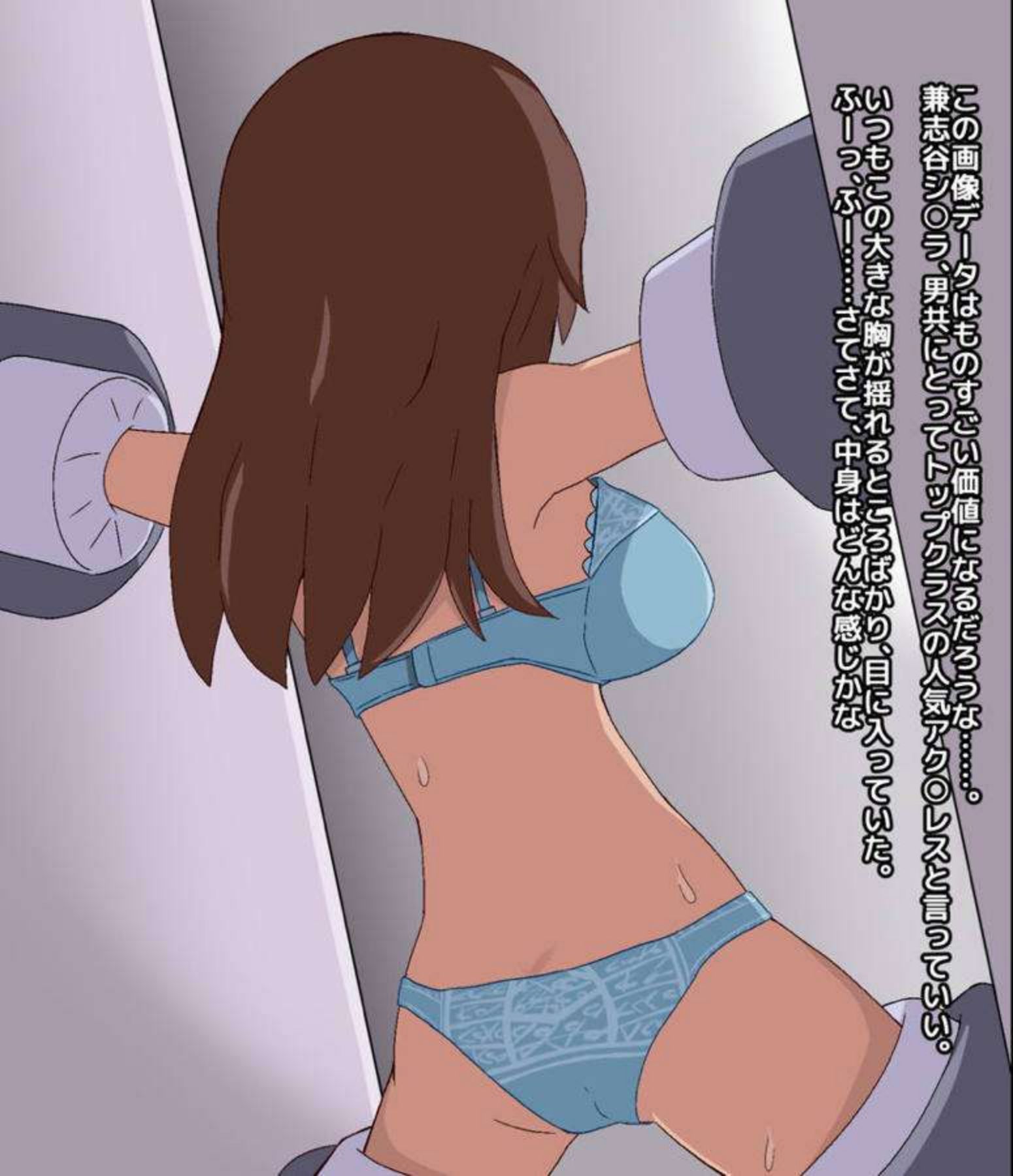


そして——
誰にもみられないよう車に乗せ、
自分専用の撮影部屋に連れてくることにも成功した。

この部屋で他のアク○レスを昏睡させ、撮影したり……
拘束したまま性欲処理の相手をさせたりしたこともある

あれだけ毎日オ○ニーのネタにしていた『兼志谷シ○ラ』が
今、無防備な姿で目の前にいる……
この事実だけで果ててしまいそうなほど、俺の股間は勃起していた





この画像データはものすごい価値になるだろうな……。
兼志谷シヅラ、男共にとっても「ミニクラン」の人気アクトレスと噂してる。
いつもこの大きな胸が揺れるところばかり、目に入っていた。
ふーっ、ふーっ……。さっさと、中身はどんな感じかな。



ハア、ハア、ハア……。
はやる気持ちを抑えながら、
下着姿を余す所なく、舐め回すように写真に撮られる。へ

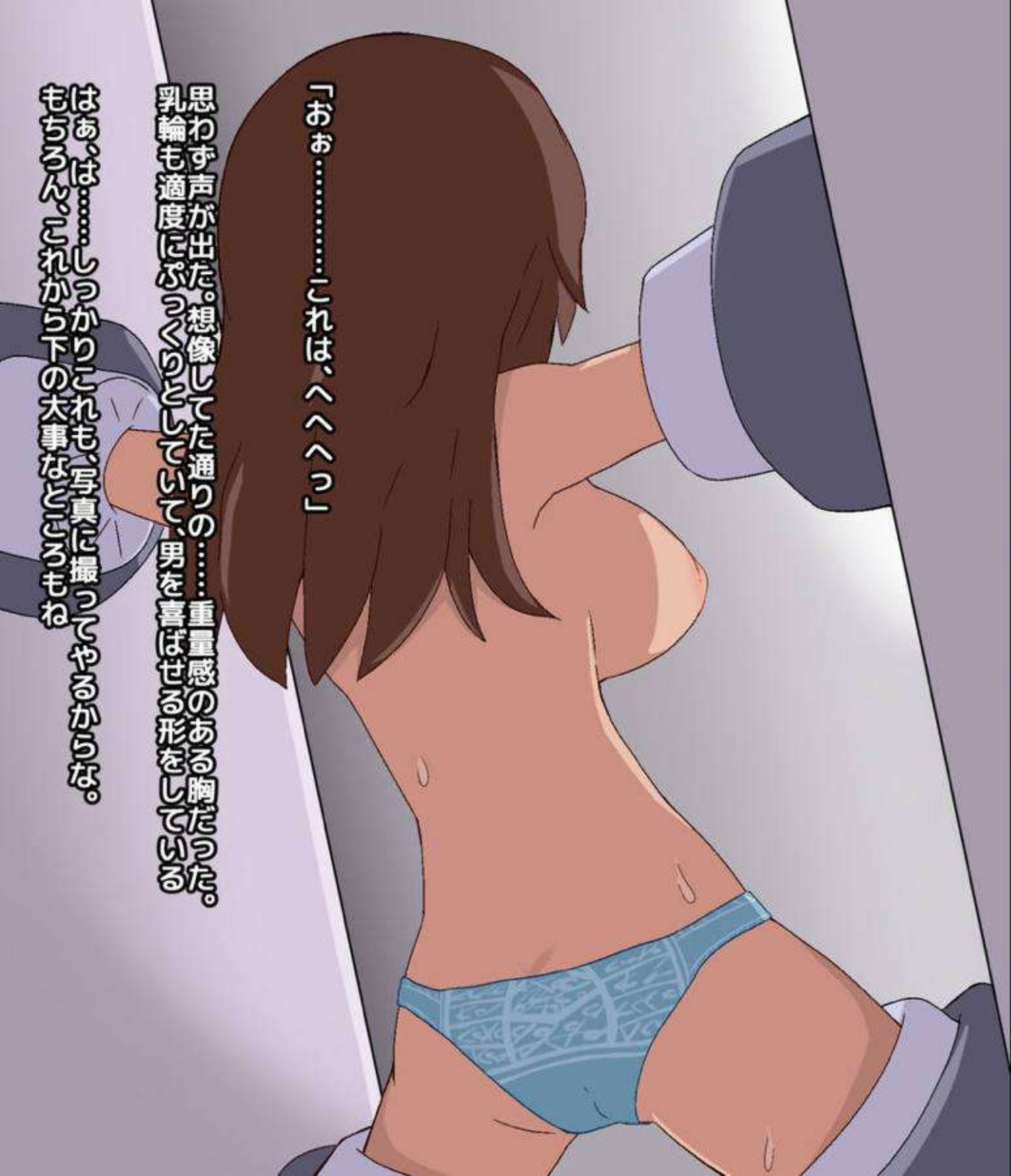
ゆっくりとブラに手をかけ、震える手で外していった。
連れてくるまでに揉みすぎたものだが、
なんとかまだ理性を保っている。大丈夫だ、時間はたっぷりある




「おお………これは、>>>>」

思わず声が出た。想像してた通りの………重量感のある胸だった。
乳輪も適度にぷっくりとっていて、男を喜ばせる形をしている。

はあ、はあ………しっかりとこれも、写真に撮ってやるからな。
もちろん、これから下の大事などころもね





「SR
うっすらと陰毛が生えていて、少しだけメスを主張しているかのようだ」

「……………ははは、いいな、スゲー、可愛いおまんこにっつやがね!」



「憧れていたあく〇レスが、自分の目の前に
一糸まとわぬ姿で捕らえられている。
もう、股間からは我慢汁が溢れ、今にも射精しそうだ」

「この写真を、各地のシャードに売っばらっつとっつ……
隊長とやらにも、プレゼントしてやるか」

「興奮は止めやらず、カメラのシャッターを連打するよつに撮影する。
『オト』を知らない兼志谷シ〇ラの』最後の写真になるだろっつから——」

——シ○ラの無断欠勤が続いていた。

通話にも出ず、メールをしても返事はない。
事務所の他のアク○レスにも連絡はないようだ。



最近アク○レスの失踪事件が続いており、
先日シ○ラとも話し、少し注意を促したところだった

『うん確かにちょっとコワイな。』
『シ○ラちゃんカワイイから、狙われちゃうかもー』



そんな風に冗談めかして笑っていた顔が浮かぶ。
思えばあの時、もっととっぴかり対策をとるべきだったのだ。
隊長として、真剣にアク○レスの危機管理を行うべきだった。

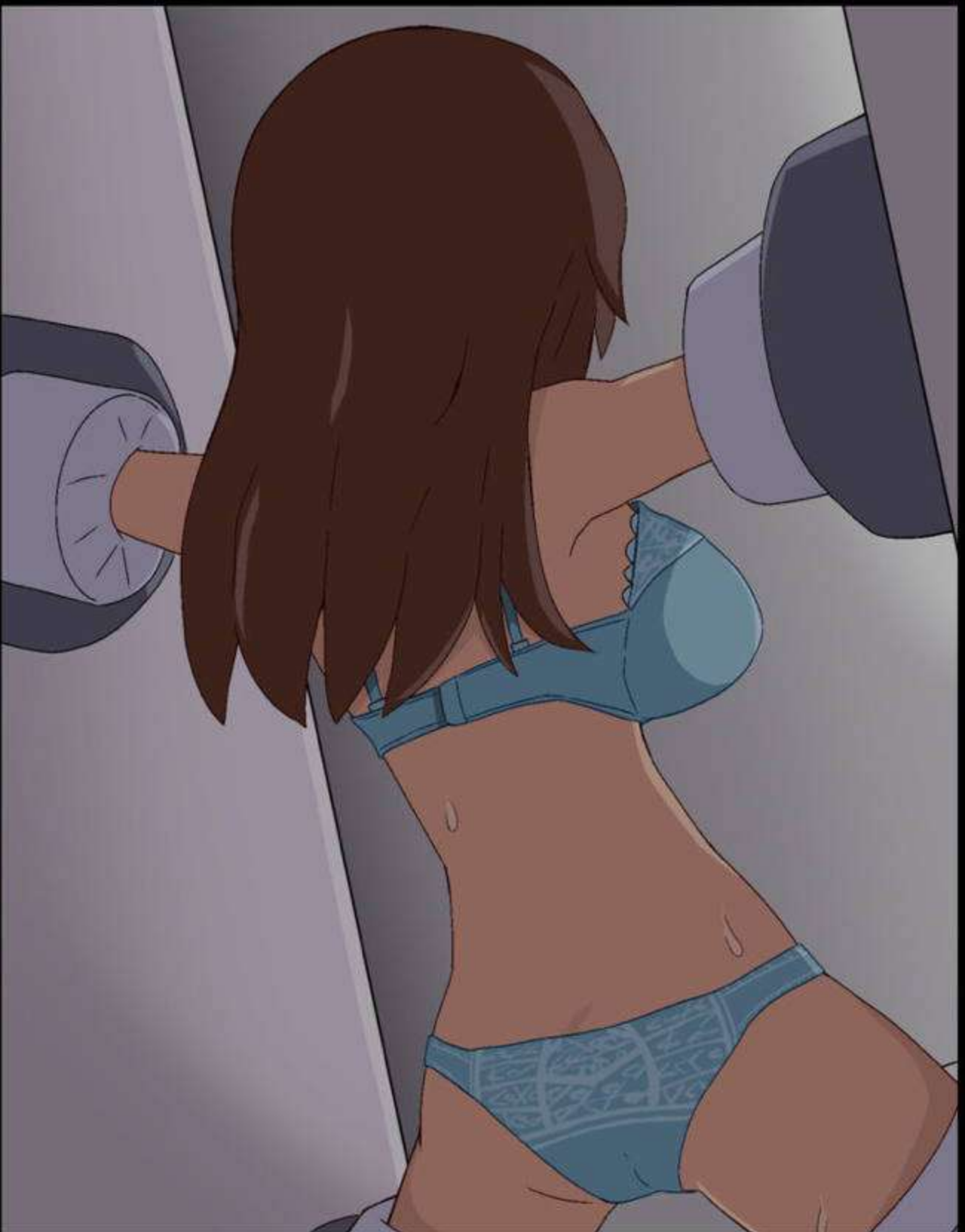
そう思い知らされるメールが今日、届く

……?..
メールには画像と映像のデータが添付されていた。
容量も多く、何通かに分けて送られてきている。

そんなことよりも、届いた画像……写真を見てしまい、
思考が一瞬ストップする。ちよっと待て、これは

ブラジャーを着た女性の写真だった。
浅黒い肌、豊かな胸、サラサラとした茶髪を揺らし、
力なくうつむいているこの姿は……。





そんな……

上下、下着姿にされている——この姿は、
健康的な身体が惜しげもなく晒されている、この姿は

顔はよく確認できなが紛れもなく、シ〇ラだった
水色の可愛らしいブラとパンツが、何者かに撮影されている。
四肢は謎の器具に拘束されている、どこかの施設だろうか。



そしてデータのほとんどは、映像だった。
まさかこれ、全部シ〇ラが映っているのか？
シ〇ラは今どうしているんだ、何を……？

恐る恐る、展開が終わったデータを開く。
やはり映っているのはシ〇ラだった。
そしてシ〇ラの、シ〇ラの胸が……
ブラ、そしてパンツすら脱がされ、
あられもない姿を見知らぬ男の前に晒してしまっていた



こんなモンぶら下げられちゃあないな。
シャード中の男共は黙ってられないな。

ZZZ...

スー...
スー

んじ...

プルン

もぞ...

シ〇ラは……眠らされている？
寝息とともにカラダが少し動き、大きな胸も揺れる

カメラを固定したのか、男の声が近づいてくる。
これ以上、シ〇ラに近づかないでくれ……!!

うお………
おお、お………

あう………!!

クリン

そんな願いもむなしく、
男はシ○ラの胸を無造作に触る

思ってた通りだが、最高のさわり心地だよ……
こんなブラブラさせてよく歩けるもんだ

ピクピク

???

クク

くそ、好き放題言いながら弄くりまわしている。
シ○ラ、はやく………目を覚ましてくれ

ふう〜、ふう、柔らかすぎてずっと揉んでられる。
シ〇ラ……すごいアク〇レスだよお前は

ん、少し汗かいてるな。
部屋、暑いかな？

あうん……んん

ハッ
ハッ

がちゃ
がちゃ

んん

ギョウ

もぞ

映像に映るシ〇ラは苦しそうに見える。
見知らぬ男に胸を弄られているとは微塵も思わないだろう

もしかして感じてたんじゃないのか？
男に胸触られたことなんてないんだろ

ちよっとツラそうな表情もいいねえ……。
にしても可愛い顔してるよねあ

はあ…
はい

うう..

あうん……はあ、はあ

たわん

くく

男は手を休め、また少しカメラを動かす。
早く解放してやってくれ、もう充分だろう

んちゅ……んちゅと口内、熱もってるな。
凄くおいしいよ……シ〇ラの

ずっ

んちゅ
ピチャ

フ
✓

んっ!
むっ……!!

んっ……ん……ん……

ぐいっ
ぐいっ

ズグッ

口内もしつこく舐め回され続け、シ〇ラの顔が紅潮している。
あまりにシヨッキンクグな映像に耐えられなかった。
震える右手で、画面のシークバーを少し右に動かした……

しかし、映像はまだ続いていて——
再生時間がすすみ、10分ほど経っていたようだったが、
男はまだ、シ〇ラの唇を貪っていた。

男の唾液を飲まされているのだろう。
口のまわりはよだれが垂れ続けている。

呆然と、その映像を眺め続けることしかできなかつた

ん〜…
ん…

ちゅっ
フッ
ッ

続く次の映像では、シ〇ラがベッド型の拘束具に固定されていた。両脚を開く格好で……男を受け入れる準備をさせられているのか

あうん……

さくで、睡眠ガスを少し追加してっと、人気アク〇レス兼志谷シ〇ラちゃんと始めてのセツ〇ス、楽しんでいくぞ

ガチャッ

ZZZ

んう……

ぴくん

ぴと

びりり

ガスを吸わされ、シ〇ラはより深く睡眠してしまう。股間には、すでに男のペ〇スがあてがわれていた。こんなことが許されているのだろうか

口がだらしなく開き、息も絶え絶えだ。
そんな、シ〇ラが、こんな……

ぶ〜……「じれどめじ」と



やっぱり初めてだったかな、つまりシ〇ラの
はじめての男はこの俺ってことになるな

そんなことを言いながら腰を動かしていく。
胸が軽く揺れ、男の性欲をされに掻き立てる



は……そんなにおっぱい揺らしちゃって、この！
刺激でまた大きくなっちゃうかもな

あう……んっんっ



うあっ!

うっん……あう

パロパロ
ヌブッ
ズブッ

男の動きがだんだん激しくなり、
シ○ラのカラダが前後に大きく揺れる



うっ！
あぁっ……ふー、ふう

んっ、あう……

うんげいせ、じいじいんげい、うんげい

っ!!

ビク
ビクン

びた!
ビュ
ムッ

男は腰を動かすのを止め、シ〇ラの腰を強く押さえつける。射精しているのだろう。男の荒い息が続き、やがて映像が途切れる

休む間もなく、シ〇ラの胸は汚されていた。汗ばんだカラダはまだ、男の性欲処理に使われている

アク〇レスとして活躍してこの見てもませぬ、思ってたんだよ、この胸は男のを挟む為にあるってな

..zzz

すー
すー

ピッ

モ〜ン♡

ん…う

がチャがチャ
ムムム

ゴムを外した後、精液で汚れたまま胸に押し付けているようだ。それでもシ〇ラが起きるような気配は、まるでない……

このもちもちとした感じがいいねえ。
戦ってる時なんかジャマだろ〜コレ

んっ……あうっ

ズジュン

フィッ

ギョウニ

うう……!

ふう、ふっ……フっ、さっき出したばっかだが、
出る、少し出すぎ。顔にかけてやるぞっシ〇ラ

ネットリとペ〇スをごすりつけていく。
シ〇ラの両胸は、男に触られるたび弱々しく揺れていた

白濁色の精液が飛び散り、シ〇ラの顔を汚す。
輪郭に液体が伝っている様子をまざまざと見せつけられる

うっ……！！

ッ！！

ビュッ

ギョッ

ビュッ！

ズッ

ふう、これまたいい映像が撮れた……かな？
これはすごい値がつくぞ。
これを見る隊長さんも、気に入るかな

男の言葉はあまり頭に入らなかつた。
嫌悪感で少し苦しそうなシ〇ラの顔を見て、手が震えている

男はシ○ラの胸、顔を汚すだけでは飽き足らず、
精液の残りをしつこくなすりつけていた

ズズ

んう……

……んっ

スー……
スー

はら、よかったよかった。いい子だな、
ほら、ちゃんとは始末して

ちゅっ
っ

ん
ピクッ

っ
たゅん

ねばついていた精液の匂いを乳輪、乳首に染みつけるように押し付けていく。シ〇ラの悶えている表情があまりにもかわいそうだ

ポクンクン

ギョー

んっ!!


あうっ……

おいおいちよっとかたくなってきたるんじゃないか？
と精液でおっぱい汚されて感じるなんて、
ドMアク〇レスだな

ぐりっ

ヌニ

んっ



やがて男は黙り込み、パコっつと箱を開けるような音が聞こえてきた。
またゴムの準備でもしているのだろうか。
おそらく胸を汚すうちに興奮してきたのだろうか。
まだまだ、シ〇ラがセツ〇スの相手をさせられるのか……。

こんな映像を眺めるくらいなら助ける方法を考えるべきだが、
映像がある以上、大事なアク〇レスが何をされてしまっているのか、
確かめずにはいられなかった。

次の映像ファイルを再生すると、すでに相手をさせられていた後だった。
まわりにはさらにもういくつかのゴムが散乱している

シ○ラをもう……解放してやってくれ
そんな情けないこちらの懇願を、男が聞くはずもなかった――

はー
はー

ズ
ズ

むくっ



はあ、はあ、はくく、まだやり足りねえが……
……………ゴム、切れちまったか

……………うん

うう…

……………まあ、せう、いいかっ

もじもじと揺れるシ〇ラが映し出されている。
その手前にはまだ収まらない蒸れた男のペ〇ス……
映像の再生時間にまだ余裕があることに、嫌な予感がした

っっ！嫌な予感には当たってしまった。こんなことが……
男は精液で汚れたままのペ○スを、そのまま挿入する。
新しいゴムをつけることもせず……

あうっ……
あっ、あっあっ……

ギシッ！！

んっ！！
〜んじ

びゅん
ぐんぐん
びゅん
びゅん

うおっ……やっぱりナマは違うなっ、
ぶっすぐんNNNNだ

っっ!?

シ○ラ、シ○ラ……そんな。このままでは、
シ○ラの大事なところが濁った液体で満たされてしまう

っ！ んんっんっ

シ〇ラっ、これがナマのセッ〇スだぞ。
しっかり映像に残して、
いろんな男に見てもらおうからなっ

うあっ
あんっ!

………あうっ、
んうっんうっ

ジュブッ

チュ

パンッ!
パンッ!

〜

〜

………男の動きが激しくなる。完全に興奮状態だ。
カラダの外に射精するよう願ったが、膣内に………出してしまっただろう。
やるせない気持ちのまま、映像から目を離せずにいた

男が射精した。
もちろんペ○スをシ○ラの奥に押し付けたまま……。
局部のまわりから精液が溢れ、陰毛まで汚されていく

おちっ、おちっ……
ううっ、ううっ……

ん——
あうっ、あうっ

バタバタ

フツ
フー!!

うへっ!!
うへっ!

はう……

おちっ、おちっ……
ううっ、ううっ……

ぷるるっ

びゅん
びゅん
びゅん

どどどっ!!

シ○ラは膣内射精を本能で嫌がり、激しく身をよじっている……。
最初の映像をみたときから、最悪の事態を予想してしまっていたが、
本当の本当に最悪だった。ああ、シ○ラ……



たっぷりと膣内射精をした後も、
男はシ〇ラをオ〇ホールのように扱い続けていた……

はあ、はあ、しっかりと味わって、
キレイにしてってくれよ

んむう……んぶう……

んい……

ぐぐっ

ピク

〜

ヌヌ

ヌヌ

ちゅ

〜

また精液、あがってきたぞ……
そんなに出ないから……
おらっ、飲め、シ○ラー!!

腰を前後に動かさし、シ○ラの口内、喉奥を責め立てていく。
とても苦しそうだ、もう……離してやってくれ

その後すぐにペ○スを抜くことはせず、
シ○ラの口内で余韻に浸っている映像が続く。

シ○ラも男も無言で………
男の荒い息遣いが聞こえてくるだけだった

なごご
なご

ん…

んむう

コクッ

ちゅっ

シ〇ラは着替えさせられ、再び拘束されている。
しかし、スーツに股間の部分はなかった……。

はあり、いいのが撮れた。
特注のコスプレ用のスーツだが、
本人に着せられるとは、感動モノだな

ズズ

スー
スー

カ
カ

う……ん

プル

キ
ュ
ン

もぞ

変態的な格好をさせられ写真に撮られ、
目の前には男のペ〇スを向けられている

はあ、はあ……シ〇ラ、お前のせいだ、俺のち〇ぽ、こんなになってるんだからな

……んう

っ!!

ギョッ

こんなスケベなカラダで、いつも男を誘惑しやがって……

ちゅん

シ〇ラがまた男に汚されてしまう。また、頭上のガスを軽く吹きかけられ、起きられないようだ。

ぶつぶつと勝手なことを言いながら、自らのペ〇スをシ〇ラの陰毛にこすりつけている。ふざけるなと言いたいが、こんな映像を見せられているだけの自分は無力だ

眠っていてもカラダが嫌悪感でもぞもぞと動くが、頼りないアクレスのスーツが音を立てるだけで、男の欲望を盛り上げるだけのようだ……

???

トクッ

……っ

うっ、おう……盛り上げる前戯のつもりだったが……、
ゴメンなシ○ラ、ちよっと出ちまったよ

はあ……はあ、へへ、
ホントいい眺めだ

ぬるん

又五

男はペ○スを軽く揺らし、精液を陰毛に絡めていく。
女の子の大事な部分に、男くさい匂いが染み付いてしまう

カメラが弱々しい後ろ姿をじっくりと映している。
そして男は……シ〇ラの後ろから密着して挿入していた

はあ、はあ、
へへへ、いい眺めだ

ううん、
あん……っん

後ろからでも凄い眺めだよ。見るよこのケツ。
こんなのがアケ〇レスとして戦ってるなんてな



がっちりと四肢を拘束され、後ろからの突き上げにされるがまだまだ。無理やりねじこまれたペ○スから無意識に逃れようとしてしているが、男はそれを許さず、シ○ラの健康的な腰をがっしり掴んでいた

ギョッ

あうっあんっっ！
ううっ！

ビクン

んっ！
んう〜

困るなあ、そろそろ慣れてもらわないと……
起きてもまた、楽しいセツ○スを撮るんだからな

もじ
もじ

ギョウ

パン
パン

クパ

はうっ



シ〇ラのカラダがびくびくと痙攣している。
濁った精液を……思い切り流し込まれているのだから

〜!
うんっ

はあ、ぶう、ぶう、ぶう

〜!
うんっ

うう、全部、受け止めるっ!
また、満たしてやるっ、ううっ



ビュ
ビュッ

ビュ
ブ

どろ
ひゅっ

すげえ妊娠しやすそうなカラダだよな……
こうなったらいつか絶対、孕ませてやるぞ

……んう……

ん……っ

まくだぶるぶる震えてるよ。そんな嫌がるなって、
男の精液で汚されて喜ばないと

男はすぐにペ○スを抜こうとせず、
シ○ラの膈内で余韻を味わっている。
画面の男専用のオ○ホールにされているようなものだ

はっ
はっ

フィル
フィル
ムクン

どくん
ネット

とくと

ほら、シ〇ラ、
ちゃんと顔、カメラに向けろ

.....
んっ

あうん..

ピクッ

ぐいっ

zz

プル

もぞ..

男はシ〇ラの背後にまわり、
頭を乱暴に触りカメラに向け、
上気したカラダには前張りのようなものが貼られ、
恥部を頼りなく隠している

写真用.....ていつかで恥ずかしいところ隠してあげました。
でも、シ〇ラちゃんはまだまだ俺にシ〇プされちゃうぞ

そろそろ起きちゃうと思うけど……そうだなあ、
どんな風に反抗してくるのか今から楽しみだ

あうん……すー、すー

??

ズリ
ズリ

ん……

男の言葉を拒否するようにカラダをくねらせるが、
まだ意識はない、力なくされるがままの状態だ。
シ○ラ……どうしてこんなことになってしまったんだ。
もう少し気をつけてやればよかった……
シ○ラが目覚めたときの反応を想像し、胸が激しく傷んだ

ピクン



END